

MITSUBISHI ELECTRIC

三菱オープンショーケース（冷凍機内蔵形）

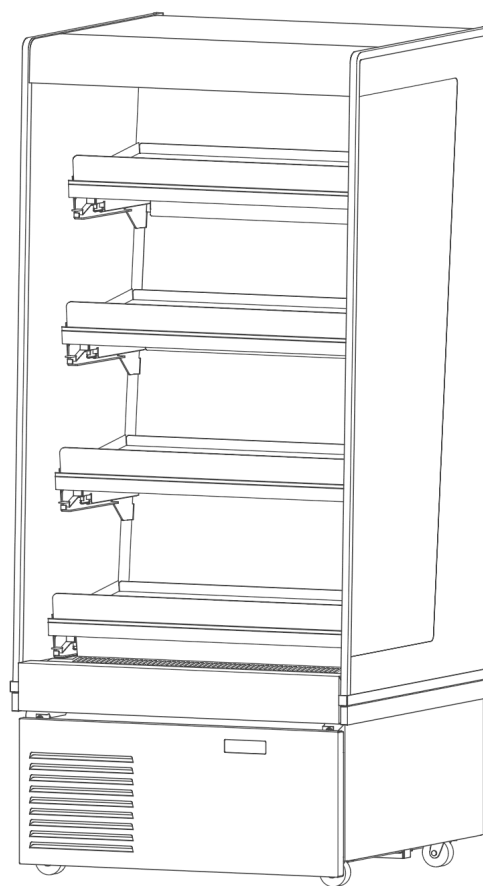
取扱説明書 （業務用）

エスピー エイチエフ ジェイアールブイエー

SB-HF2014JRVA

SB-HF3014JRVA

ノンフロン



(SB-HF2014JRVA)

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。
特に「安全のために必ず守ること」は必ず読んで正しくお使いください。
- 「取扱説明書」は大切に保管してください。
- お使いの製品を貸与される場合は、新しくお使いになるお客様が安全な正しい使い方を知るために、この「取扱説明書」を製品の目立つところに添付してください。
- 別紙の「三菱電機修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。また製品を貸与される時は製品に添付してください。
- ご使用されるお客様自身で据え付けしないでください。
(安全や機能の確保ができません)

このショーケースは、ノンフロン冷媒（プロパン）を使用しています。

お取扱販売店の方へ

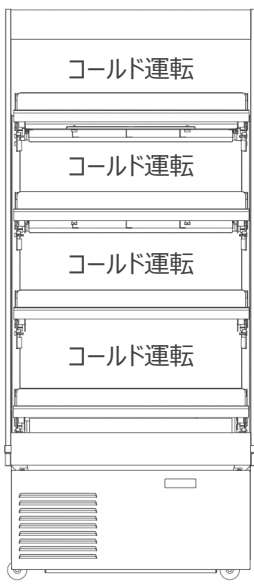



ショーケースをお客様に引き渡しされる前に、必ず取扱説明書で「安全のために必ず守ること」「ご使用方法」等をお使いになる方にご説明ください。

運転パターン

このショーケースは以下の4種類の運転パターンが可能です。

設定方法

P.16~20

オールコールド	2ホット&2コールド	1ホット&3コールド	オールホット
工場出荷時設定 			

ノンフロン冷媒（プロパン）について

- 地球温暖化係数「3」のノンフロン冷媒（プロパン）は、地球温暖化に対する影響が当社従来機より小さい、環境に配慮した自然冷媒です。

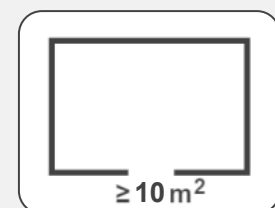
設置場所について

- ノンフロン冷媒（プロパン）を使用したショーケースを安全にご使用頂くために、最小設置床面積10m²以上、天井高さ2.2m以上の場所に設置してください。
※万が一冷媒が漏れた場合、冷媒を拡散させるために必要な設置条件です。

最小設置床面積について

ショーケースを設置する場所の壁で囲われている部分です。
同一階で開放している通路でつながっている部屋は床面積に含まれます。
ただし、開放している通路とは以下の条件に適合する場合があります。

- ・人が普通に歩ける幅があること
- ・開閉可能な扉がないこと
- ・冷媒を拡散させる際に滞りやすいような段差・構造物がないこと




最小設置床面積を表示した名板をショーケースに貼付しています。


	ページ		
ご使用の前に	安全のために必ず守ること	4	
	ご使用上のお願い	8	
	各部のなまえとはたらき	9	
	ご使用前の準備	12	
ご使用のときに	ご使用方法	14	
	冷却運転を開始・停止する	…14	
	トップ照明を点灯・消灯する	…15	
	陳列棚（スライド式）について	…15	
	ナイトカバーを使う	…15	
	オールコールド運転をする	…16	
	ホット&コールド・オールホット運転をする	…18	
	運転パターンを変更する	…20	
	コールド運転の目標温度設定値を変更する	…21	
	ホット運転の目標温度設定値を変更する	…22	
	コントローラ キー操作ロック機能について	…23	
	コントローラ キー操作ロックのしかた	…24	
	コントローラ キー操作ロック一時解除のしかた	…25	
	コントローラ キー操作ロック変更・解除のしかた	…25	
	ドレン満水警報の解除のしかた	…26	
こんなときに	お手入れと点検	27	
	お手入れ・点検箇所と頻度	…27	
	お手入れをする前に	…28	
	フィルター	お手入れ：月に1回以上	…29
	電源プラグ	お手入れ：半年に1回	…29
	蒸発板	お手入れ：半年に1回	…30
	漏電遮断器	点検：半年に1回	…31
	蒸発皿・オーバーフロータンク	点検：日常	…31
	水位センサ	点検：日常	…32
	消耗品	…32	
	故障かな？と思ったら	33	
	運転しない	…33	
音がうるさい	…33		
照明がつかない	…33		
よく冷えない	…34		
よく温まらない	…34		
蒸発皿にドレン水が頻繁にたまる	…35		
ドレン満水警報が赤く点滅する	…35		
コントローラの操作ができない	…35		
コントローラにエラー表示が出たときは	…36		
よくあるご質問	37		
据付工事確認と試運転	38		
保管・移設・廃棄について	38		
仕様	39		
保証とアフターサービス	40		

安全のために必ず守ること

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。








 警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの
---	--------------------------------

 注意	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---	------------------------------------






- 図記号の意味は次の通りです。

してはいけない「禁止」事項	知っていただきたい注意事項
 禁止	 火災の危険あり 可燃性物質
 分解禁止	
 接触禁止	
 ぬれ手禁止	
 水ぬれ禁止	
	お守りいただく「指示」事項
	 指示を守る
	 アース接続






全般

 警告	 禁止	ショーケースにたばこや火気を近づけたり、火気のそばで使用しない 火災の原因	 禁止	ショーケースの吸気・排気口をふさがない 安全機能低下による火災の原因
	 禁止	冷媒が漏れたときに安全に運用するための機能を備えているため、お手入れ・点検時以外は電源を切らない 火災の原因	 火災の危険あり 可燃性物質	<ul style="list-style-type: none"> ・冷媒が滞留しないような十分な換気を行う ・冷媒が充填された状態での火気使用厳禁 ・配管を傷つけたり、損傷させたりしない 火災の原因
	 確認	据付・サービス・移設・廃棄時はR290対応の携帯形漏えい検知器を常に携帯し、冷媒が漏えいしていないことを確認する 火災の原因	 指示を守る	据付・サービス・お手入れ・移設・廃棄のときは静電気防止のため軍手などを着用する 静電気による火災の原因

電源プラグ・電源コード

 警告	 禁止	電源コードに重いものをのせたり挟み込んだりしない 火災・感電の原因	 禁止	電源コードを傷つけたり加工しない 火災・感電の原因
	 禁止	電源コードを無理に曲げたりたばねたりしない 火災・感電の原因	 禁止	電源プラグはコードを引っ張って抜かない 発熱・火災の原因

電源プラグ・電源コード つづき

 警告	 めれた手で電源プラグを 抜き差ししない 感電の原因 ぬれ手禁止	 電源コードは延長コードの 使用やタコ足配線をしない 発熱・火災の原因 禁止
	 電源プラグのほごりを 定期的にする ほごりを取る 火災の原因	 電源プラグは、がたのない ように刃の根元まで確実に 差し込む 火災・感電の原因 差し込む

据え付け時

 警告	 屋外で使用しない 火災・感電・漏電の原因 水ぬれ禁止	 湿気の多い所や水のかかり やすい場所に据え付けない 漏電・感電の原因 水ぬれ禁止
	 ハロゲン系ガスや亜酸化窒素 の近くに据え付けない 爆発・火災の原因 禁止	 周囲に隙間をあけ、通風の 妨げになる物を置かない 火災の原因 禁止
	 据え付けは販売店または 専門業者に依頼する 火災・感電・水漏れの原因 依頼する	 製品質量に十分耐える所に 据え付けて固定する ケガの原因 固定する
	 電源は専用の单相100V コンセントを使用する 発熱・火災の原因 使用する	 アースを接続する アース線はガス管・水道管・ 避雷針・電話のアース線に 接続しない 感電の原因 アース接続

ご使用时




 警告	 製品に直接水をかけない 漏電・感電の原因 水ぬれ禁止	 揮発性・引火性のあるものは 庫内に入れない 爆発・火災の原因 入れない
	 可燃性のスプレーを近くで 使用したり可燃物を置かない 爆発・火災の原因 置かない	 めれた手で電気部品の スイッチを操作しない 感電の原因 ぬれ手禁止
	 ホット用以外の炭酸飲料・ ビン飲料をホット棚に置かない 破損によるケガ原因 禁止	 ホット運転時は棚に直接 手を触れない やけどの原因 接触禁止

安全のために必ず守ること つづき






ご使用时 つづき

 警告	 <p>禁止</p> <p>フィルターは当社標準装備品以外のは使用しない 安全機能低下による火災の原因</p>	 <p>禁止</p> <p>ショーケース庫内では電気製品を使用しない 爆発・火災の原因</p>
	 <p>禁止</p> <p>霜取工程を加速するための機械的な装置、その他の手段を用いない 爆発・火災の原因</p>	 <p>電源を切る</p> <p>漏電遮断器が作動した場合は電源プラグを抜くか、元電源を切る 火災・感電の原因</p>
	 <p>電源を切る</p> <p>異常時は運転を停止して、漏電遮断器を切り、電源プラグを抜く 火災・感電の原因</p>	
 注意	 <p>置かない</p> <p>製品の上には重量物や水を入れた容器を置かない ケガ・感電の原因</p>	 <p>乗らない</p> <p>製品の上に乗らない ケガの原因</p>
	 <p>のせない</p> <p>棚には許容質量以上の商品をのせない ケガの原因</p>	 <p>禁止</p> <p>棚を引き出したまま寄りかかったり、つかまったりしない 転倒・ケガの原因</p>
	 <p>禁止</p> <p>複数の棚を同時に引き出さない 転倒・ケガの原因</p>	 <p>セットする</p> <p>棚の取り付けは正しく確実にセットする ケガの原因</p>
	 <p>取り付ける</p> <p>棚ガードを取り付けて商品を陳列する 商品落下によるケガの原因</p>	 <p>指示に従う</p> <p>コントローラの満水警報が点滅したら、蒸発皿の水をすぐに排水する 床面に水がたれ、転倒・ケガの原因</p>

点検・お手入れのとき

 警告	 <p>分解禁止</p> <p>専門業者以外の方は絶対に分解・修理・改造をしない 火災・感電・水漏れ・ケガの原因</p>	 <p>使用しない</p> <p>指定以外の冷媒を使用しない 破裂・ケガの原因</p>
---	--	--

点検・お手入れのとき つづき

 警告	 <p>電源を切る</p> <p>お手入れや点検のときは必ず 漏電遮断器を切り、電源プ ラグを抜く 感電・ケガの原因</p>	 <p>確認する</p> <p>漏電遮断器は定期的に動作 を確認する 火災・感電の原因</p>
 注意	 <p>接触禁止</p> <p>フィルター清掃時は凝縮器 フィンに直接手を触れない ケガの原因</p>	

保管・移設時

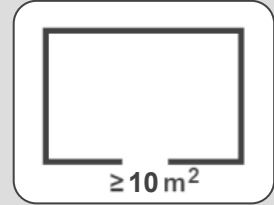
 警告	 <p>電源を切る</p> <p>長期間ご使用にならない場 合は、安全のために漏電遮 断器を切り、電源プラグを 抜く 火災の原因</p>	 <p>力を加えない</p> <p>製品を移動するときは、 ガラス部分に力を加えない ケガの原因</p>
	 <p>傷つけない</p> <p>製品を移動するときは、漏電 遮断器を切り、電源プラグを コンセントから抜いて電源 コードを傷つけないように移 動する 火災・感電の原因</p>	 <p>保管する</p> <p>風通しがよく、近くに火気が ない場所に保管する 火災の原因</p>
	 <p>依頼する</p> <p>移設は当社代理店または 販売店に依頼する 火災・感電・水漏れ・ケガ の原因</p>	 <p>置かない</p> <p>燃えやすい物をショーケース のまわりに置かない 火災の原因</p>
		 <p>避ける</p> <p>製品を保管する場合は、 幼児が遊ぶ場所を避ける ケガの原因</p>
		 <p>転倒させない</p> <p>製品を移動させる場合は 転倒させない 火災の原因</p>
	 注意	 <p>水ぬれ禁止</p> <p>長期間ご使用にならない 場合は、水のかかる場所や 湿気の多い所に保管しない 漏電・感電の原因</p>
 <p>排水する</p> <p>製品を移動するときは、蒸発 皿・オーバーフロータンクの水 を排水をする 漏電・感電の原因</p>		

安全のために必ず守ること つづき

ノンフロン冷媒R290（プロパン）を使用したショーケースについて

- このショーケースに使用されている冷媒は、通常漏れることはありませんが、万が一冷媒が漏れて火気に触れると火災を発生するおそれがあります。
そのため凝縮器送風機を常時運転し、床面や物陰にたまらないようにしています。
- 凝縮器送風機を常時運転し、冷媒が漏れた場合の安全性を確保しています。ただし、サービス時に冷媒が漏れていることが分かった場合には、より安全性を確保するため、サービスマンが製品周囲半径8m以内に火気がない場所まで移動いたします。
- 機体に貼付けている名板（ラベル）をはがさないください。

<名板（ラベル）>



警告	
	火災の危険あり / 可燃性物質 ・冷媒が滞留しないよう十分な換気を行う。 ・冷媒が充填された状態での火気使用厳禁。 ・配管を傷つけたり、損傷させたりしない。
	電源を切らない 可燃性冷媒を使用しており、冷媒が漏れたときに安全に運用するための機能を備えています。 お手入れ・点検時以外には電源を切らないください。



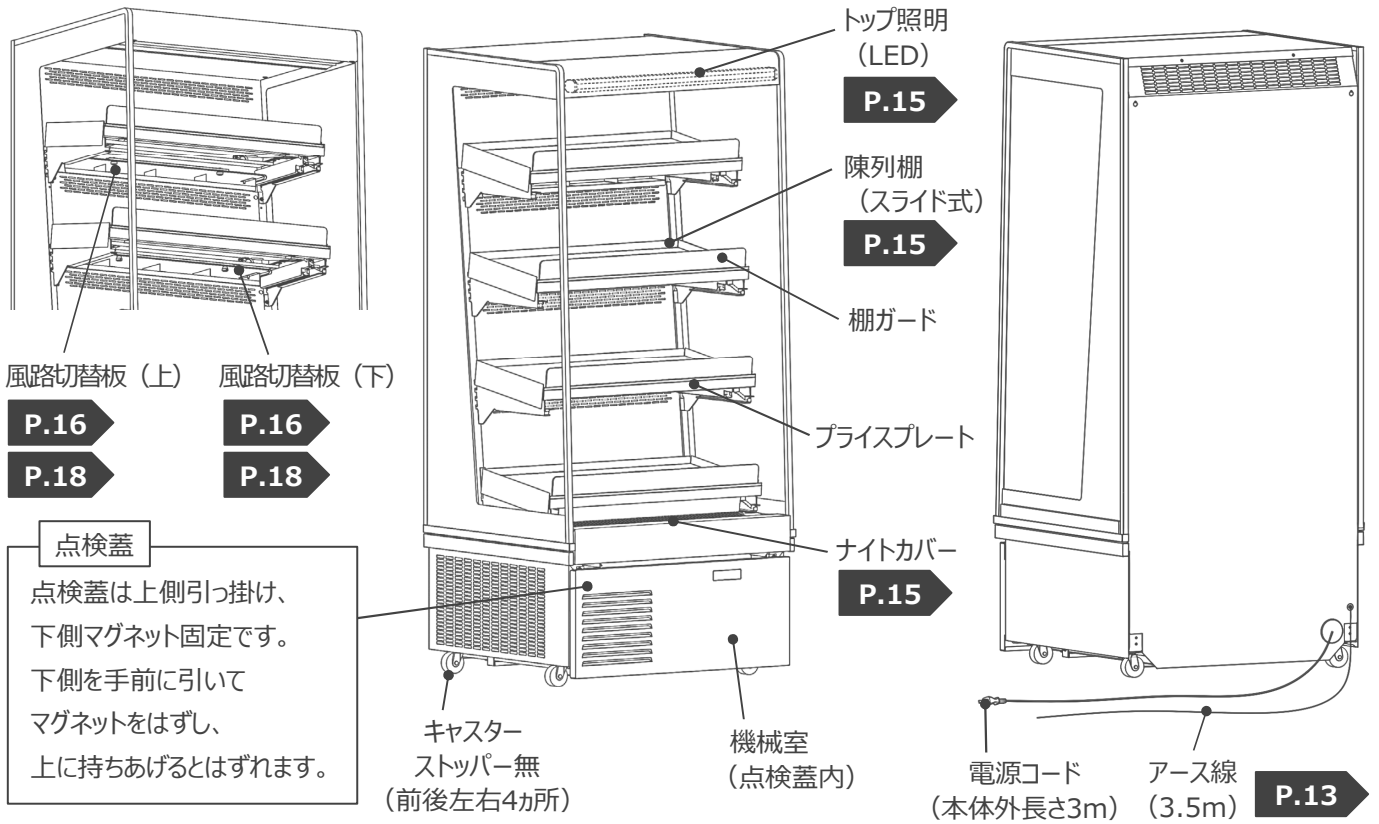
配管を傷つけたり製品が転倒したときは、ただちに運転を停止し、当社代理店または販売店、「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）にご相談ください。可燃性冷媒を使用していますので発火・火災のおそれがあります。

ご使用上のお願い

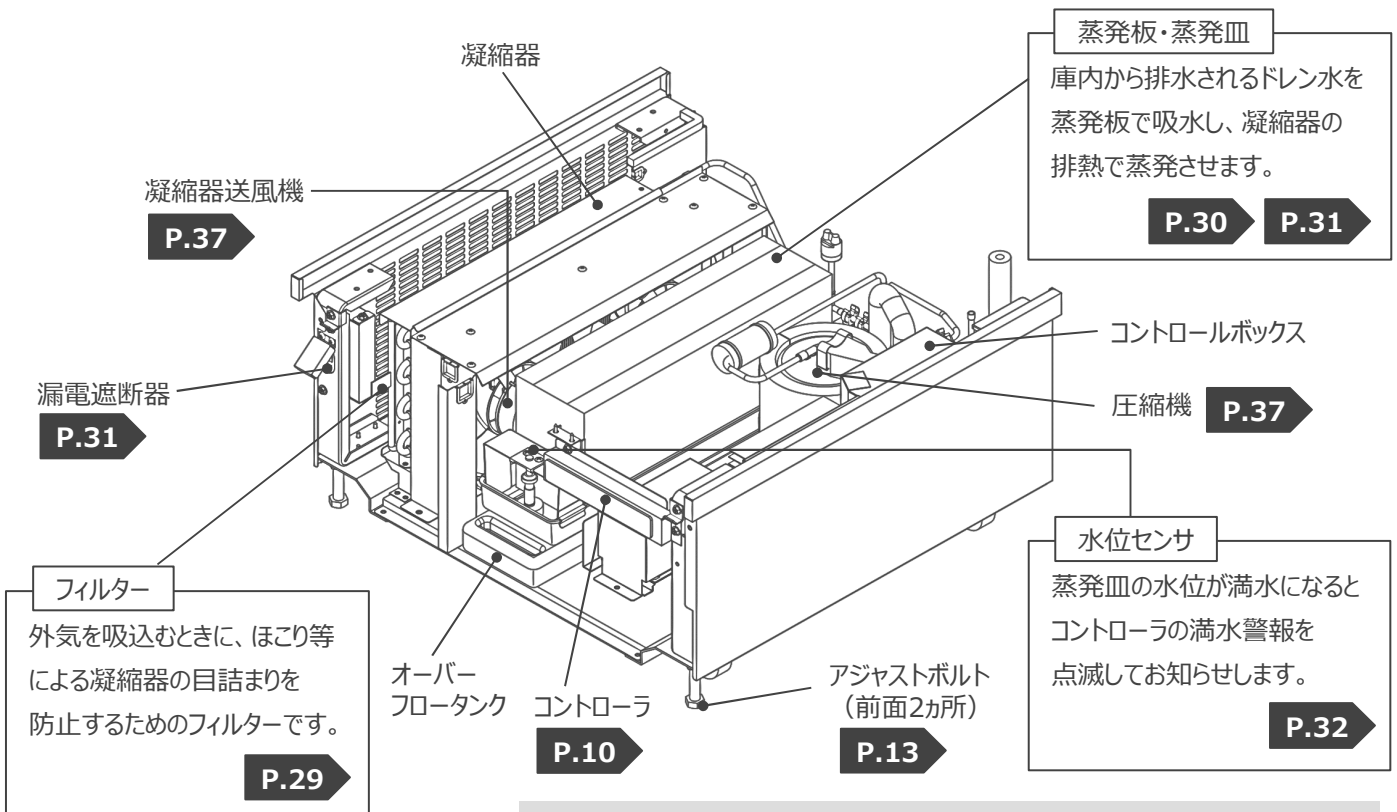
- 飲料販売用のショーケースです。密閉容器（飲料）の展示販売用としてご使用ください。
医薬品・学術試料・飲料以外の食品などの保管には使用しないでください。
 - 硫黄系ガス・酸・アルカリ雰囲気（温泉地、化学薬品工場、下水処理場、メッキ工場、食品加工工場や加工をする店舗等）では、熱交換器や配管が腐食をおこすおそれがあります。
当社代理店にご相談ください。
 - 製品を長く、清潔にご使用いただくために、定期的にお手入れ・点検をしてください。
 - 可燃性冷媒を使用してる製品につき冷媒漏えい時には下記対応を直ちに行ってください。
冷媒の滞留が起きないように十分な換気を行ってください。換気は換気扇などで実施せず、窓を開けて行ってください。
機器の近くからは着火源を排除してください。
 - 輸送、保管、据え付け、メンテナンス、撤去、廃棄を行う場合は下記を必ずご確認ください。
本製品は可燃性物質であるプロパン(R290)を使用しているため、製品周辺での火気使用は厳禁です。
機器の近くからなるべく着火源を排除してください。
- ※着火源にはライターやバーナーなどの裸火、コンロなどの燃焼機器、ヒーター、たばこ、ブラシモーターによる摩擦熱、静電気、換気扇や照明機器類のON/OFFスイッチなどが該当します。
作業時は作業場所のすぐ近くに消火器があることをご確認ください。消火器が近くにない場合は、着火時に即座に消火できるよう水を入れたバケツ、または水を浸したウエスを携行ください。

各部のなまえとはたらき

本体



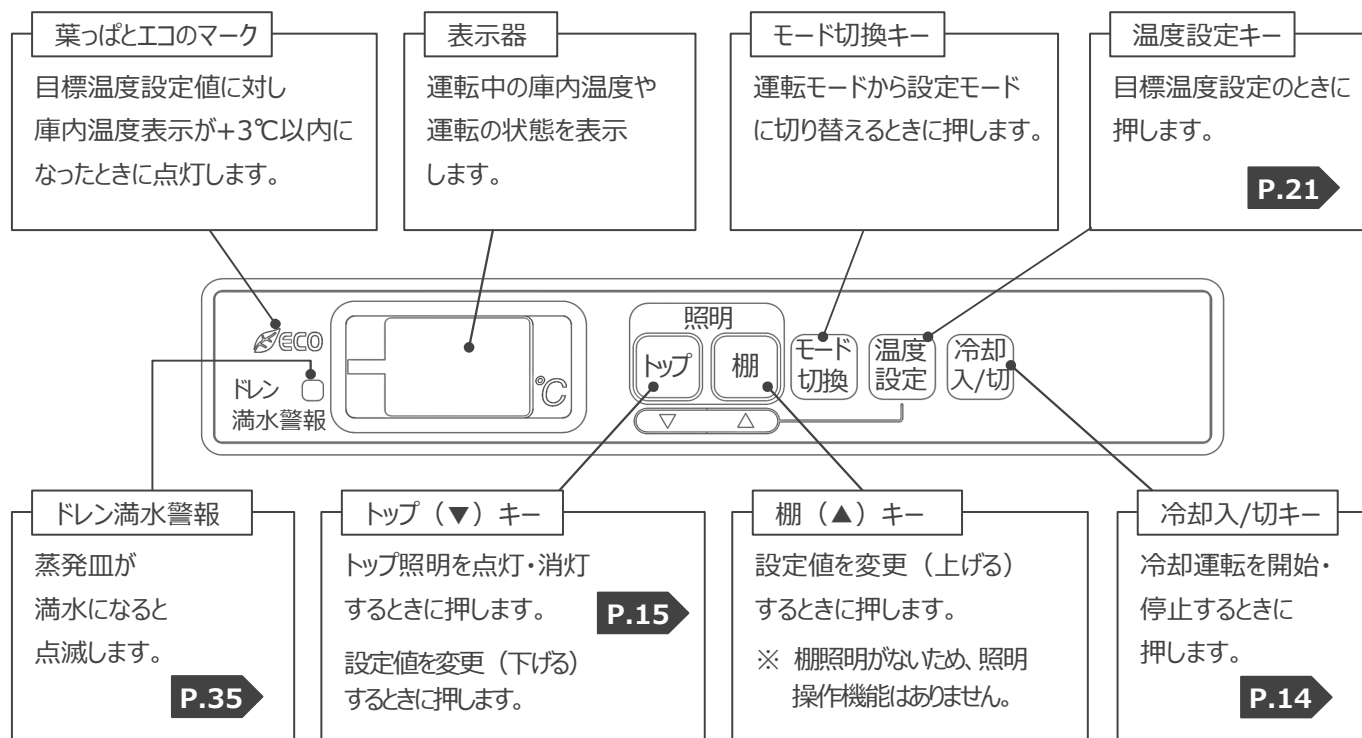
機械室



イラストはSB-HF2014JRVAです。SB-HF3014JRVAの部品配置も同じです。

各部のなまえとはたらき つづき




コントローラ






運転中の表示

表示	運転状態	表示	運転状態
	冷却運転停止中		異常警告表示 P.36
	冷却運転中 ※ 運転中はコールド運転時の庫内温度を表示します。		点滅周期 3秒点灯/0.5秒消灯の場合 異常警告表示 P.36
	オールホット運転中		点滅周期 0.5秒点灯/0.5秒消灯の場合 除霜禁止モード P.36
	霜取り運転中 ● 冷却器霜取りのため、2時間周期で(12回/日)霜取り運転を行います。		
	霜取り運転終了後の急冷運転中 ● 庫内温度が目標温度設定値+3℃以下になるか、または霜取り運転終了から1時間経過後に庫内温度表示に戻ります。		

付属品

COLD・HOT 表示	エアガード
 (表面)  (裏面) <p>出荷時は“COLD”面を表側にして前面の プライスプレート内に挿入しています。</p> <p>使用方法 P.16 P.18 数量 4枚</p>	 <p>使用方法 P.17 P.19 数量 1個</p>

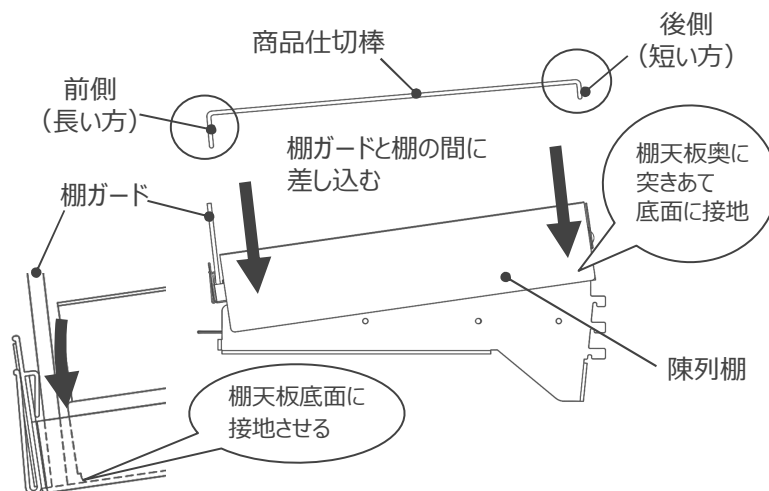
品温ガード	
 SB-HF2014JRVA用 ホット運転時に使いますのでなくさないよう 保管しておいてください。	 SB-HF3014JRVA用 使用方法 P.19 数量 4個

商品仕切棒
 SB-HF2014JRVA用 数量 8本 SB-HF3014JRVA用 数量 12本

商品仕切棒について

陳列棚に商品を並べる際に、商品別に陳列することができます。

- 商品仕切棒の前側を棚ガード側に差し込み、後側を陳列棚奥側に突きあててください。
- 陳列棚に商品をのせる前に、商品仕切棒を取り付けてください。
- ホット運転中の陳列棚は熱くなっています。商品仕切棒は、棚が冷めてから取り外してください。



ご使用前の準備

据え付け場所の選定

性能を十分発揮できるように次のような場所に設置してください。

ご使用されるお客様自身で据え付けしないでください。（安全や機能の確保ができません）

周囲環境

温度	15~25℃
湿度	60%以下

- この表の範囲をこえると性能低下や結露の原因になります。
- 周囲温度が35℃以上（夜間、空調運転停止時など）になると、保護装置により正常な冷却運転が保てなくなります。

風のあたらないところ

周囲風速	0.2m/sec以下
------	------------

- 店舗の出入口付近や空調ダクト・換気扇など風の影響を受ける場所に据え付けしないでください。

ショーケース庫内に外気が入り込みやすくなり、冷却性能や加温性能、ドレン水増加による蒸発性能低下の原因になります。

熱気から離れたところ

- 近くに熱源があるところや、直射日光のあたるところに据え付けしないでください。

ショーケースの周囲温度が上昇し、暖かい外気が庫内に入り込み冷却性能低下の原因になります。

吸気・排気スペースを確保する

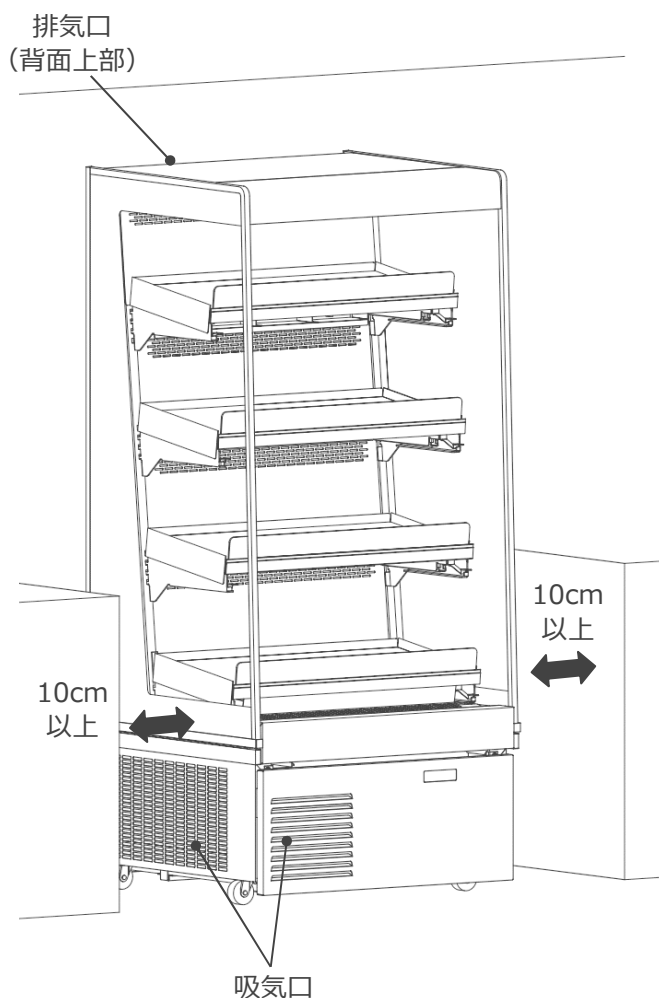
- ショーケースの左右に10cm以上のすきまを確保する。
- 床面から天井までの距離が2.2m以上ある場所に設置してください。
- 前面の吸気口や背面上部の排気口をダンボールや商品などでふさがないようにください。


吸気・排気スペースを確保していないと、冷却性能・蒸発性能・安全機能低下の原因になります。

丈夫で水平なところ

- 丈夫で水平なところに据え付けてください。

音や振動の原因になります。



 警告	据え付けは販売店または専門業者に依頼する 火災・感電・水漏れの原因
	屋外で使用しない 火災・感電・漏電の原因
	湿気が多い所や水のかかりやすい場所に据え付けない 漏電・感電の原因

設置

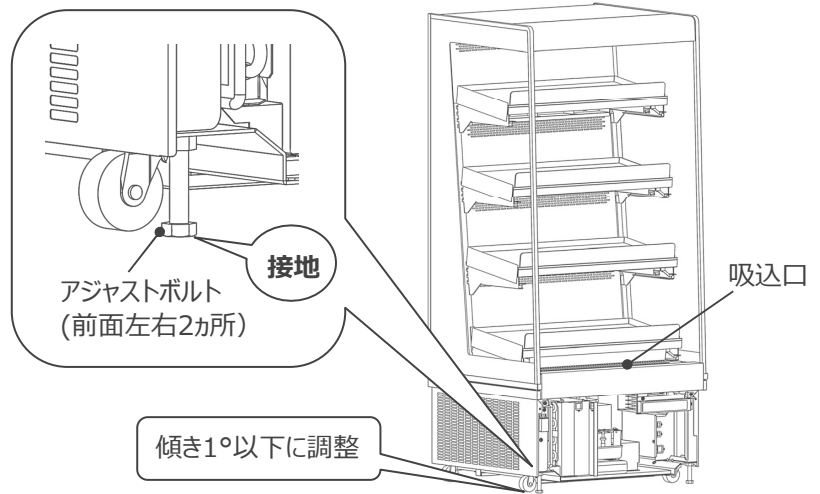
傾き

ショーケースの左右・前後の傾きが1°以下になるようにアジャストボルトで調整をしてください。

- 傾きは吸込口の中央部で水準器を使い、確認してください。

固定

ショーケースが移動しないようにアジャストボルト（前面左右2カ所）で固定してください。



電源

電源

電源	電源プラグ
単相100V	2極 (125V 15A)



警告

電源は専用の単相100V
コンセントを使用する
発熱・火災の原因

アース

万が一の感電を防止するために、アースを接続してください。

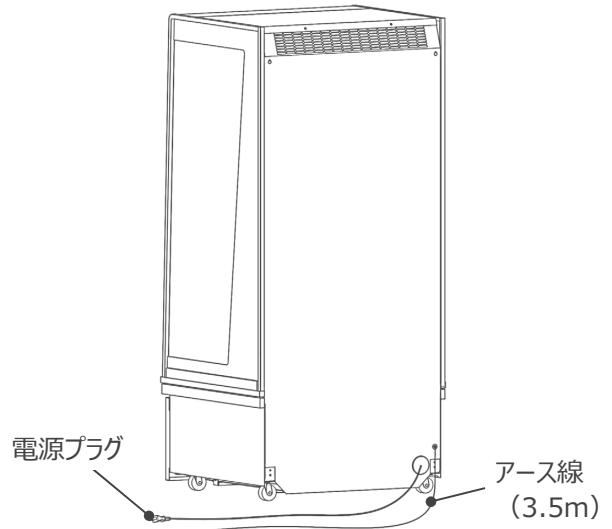
アース線について

付属のアース線をご使用ください。

- ◆ アース線（銅線直径1.6mm以上）

- アース端子がない場合は、アース工事を実施して、アースを接続してください。
アース工事は「電気設備に関する基準」に従って、電気工事士の有資格者が行ってください。

据付工事完了後、38ページの事項をお客様自身でご確認ください。



警告

アースを接続する
アース線はガス管・水道管・
避雷針・電話のアース線には
接続しない
感電の原因

ご使用方法

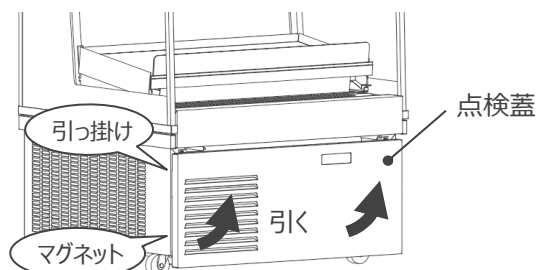
飲料販売用のショーケースです。医薬品・学術試料・飲料以外の食品などの保管には使用しないでください。

冷却運転を開始・停止する

運転を開始する前に、ショーケース専用の単相100Vコンセントを使用していることを確認してください。
オールコールド、ホット&コールド運転をするときに以下の手順で冷却運転を開始・停止できます。

1 点検蓋をはずす

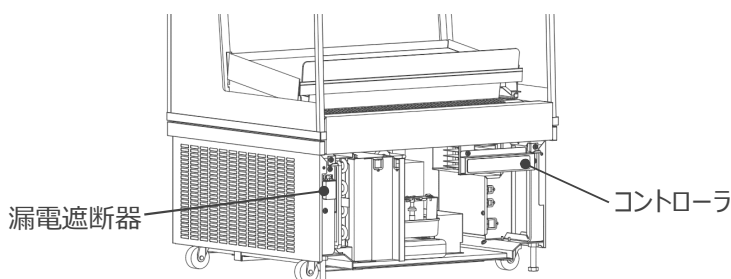
- 点検蓋は上側引っ掛け、下側マグネット固定です。下側を手前に引いてマグネットをはずし、上に持ち上げるとはずれます。



2 表示器に 『 -- -- 』

が表示されていることを確認する

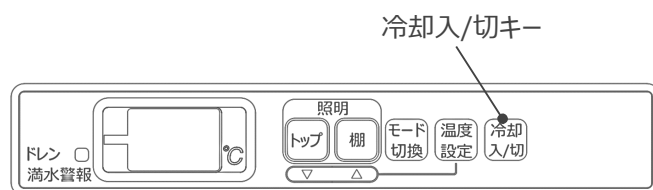
- 表示されていないときは、漏電遮断器が「OFF」になっていないか確認してください。



3 冷却入/切 を3秒以上押し続け、

運転を開始する

- 圧縮機は停止保持時間3分経過後に動き始めます。



4 表示器に庫内温度 『 20 』

(例：庫内温度20℃のとき)

が表示されたことを確認する

- 冷却運転開始時の庫内温度が表示されます。



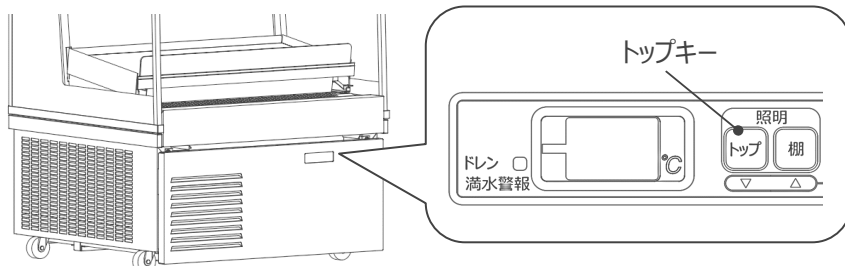
冷却運転を停止するときは、手順3の冷却入/切キーを3秒以上押し続けてください。
表示が『 -- -- 』に変わります。

トップ照明を点灯・消灯する

点検蓋をあけずに、点検蓋の窓からトップ照明の点灯・消灯操作ができます。

トップ を押し、照明を点灯する

- 消灯するときは、再度トップキーを押してください。



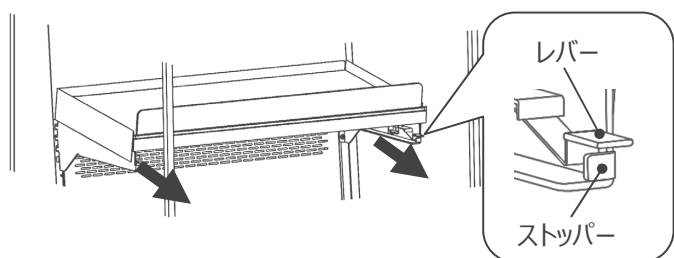
陳列棚（スライド式） について

陳列棚はスライドさせて手前に引き出すことができます。棚の奥へ新しい商品を入れやすく、先入れ先出しが可能です。

陳列棚（スライド）を引出す

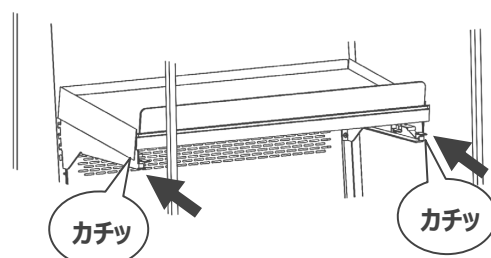
両側の黒いレバーを上へ引いてストッパーを外し、陳列棚の前面を持って手前にゆっくり引き出してください。

- 途中で手を離さないでください。商品落下の原因になります。



陳列棚（スライド）を戻す

両端の黒いレバーがストッパーに“カチッ”とはまるまで押し込んでください。前側を手前に引いて、陳列棚が前に出てこないことを確認してください。



陳列棚（スライド）許容質量

	SB-HF2014JRVA	SB-HF3014JRVA
許容質量（棚1枚あたり）	20kg	30kg

ナイトカバーを使う

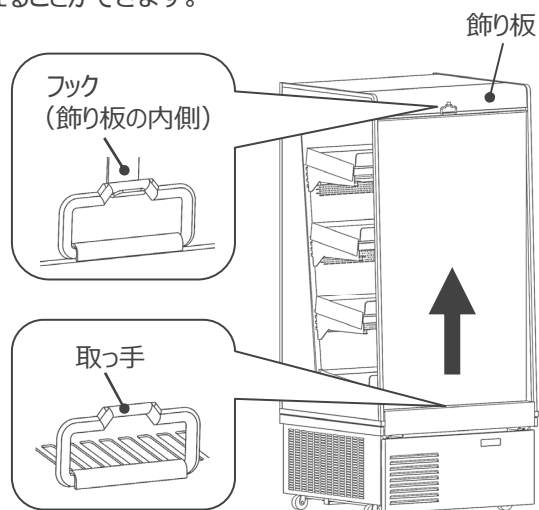
営業時間外に、ご使用いただくと消費電力量や商品の温度変化を抑えることができます。

ナイトカバーの取っ手を持ち、カバーを引き上げ、飾り板中央のフックに引っ掛ける

- ホット運転のときはナイトカバーを使用しないでください。熱によりナイトカバーが変形する原因になります。

ナイトカバーを収納するとき

- 周囲環境によってはナイトカバーの表面に結露する場合があります。収納するときに、拭き取ってください。
- 収納するときは、途中で手を離さず、必ず最後まで取っ手を持って収納してください。途中で離すと、取っ手破損の原因になります。



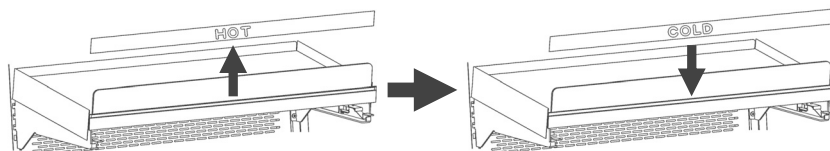
ご使用方法 つづき

オールコールド運転をする

工場出荷時は **オールコールド** 運転仕様に設定していますので、そのままオールコールド運転が開始できます。
オールコールド以外の運転パターンからの変更は以下の通りです。

1 陳列棚前面の表示を“COLD”にする

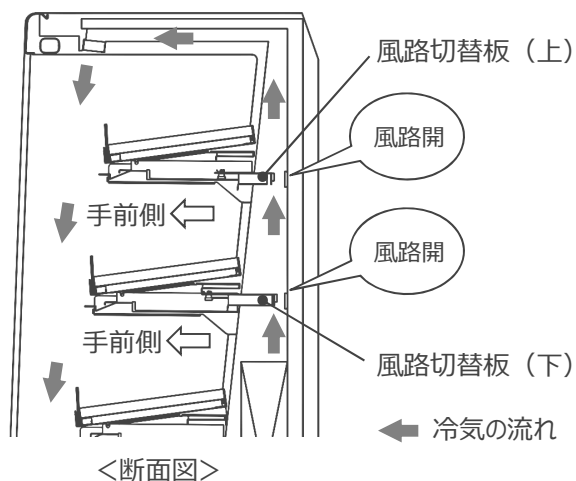
- “HOT”表示の裏側が“COLD”表示になっています。
- オールコールド運転時は、品温ガードは取り付け不要です。



(図示は“HOT”から“COLD”へ変更の場合)

2 風路切替板を操作して オールコールド設定に変更する

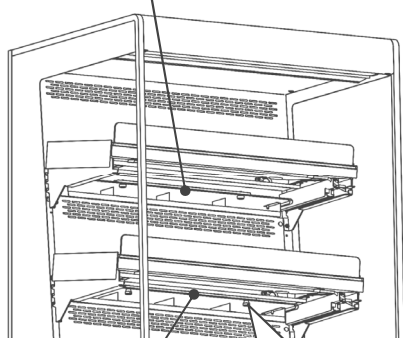
風路切替板の位置 (オールコールドの場合)



<断面図>

風路切替板 (上)・(下) の操作方法

風路切替板 (上)



風路切替板 (下)

ツマミねじ
(切替板各2カ所)

① ツマミねじを少しゆるめる

- ツマミねじはゆるめすぎると風路切替板からはずれますのでご注意ください。

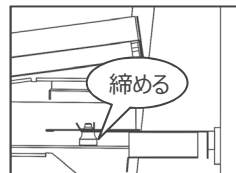


② ツマミねじをもったまま奥側または手前側に突きあたるまでスライドさせる

- 奥側に押すと風路が閉じます。
- 手前側に引くと風路が開きます。

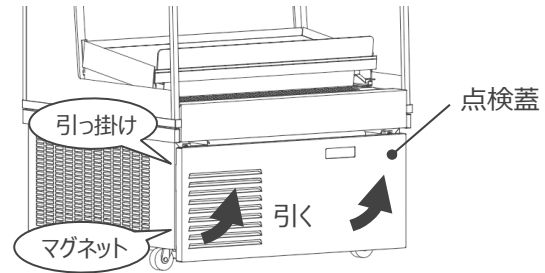


③ 突きあたった位置でツマミねじを締めて風路切替板を固定する



3 点検蓋をはずす

- 点検蓋は上側引っ掛け、下側マグネット固定です。下側を手前に引いてマグネットをはずし、上に持ち上げるとはずれます。



4 運転パターンをオールコールド設定に変更する

変更方法は **P.20** をご覧ください

5 **P.14** の手順で 冷却運転を開始する

6 陳列棚（スライド式）を引き出して 商品を入れる

- 商品で吹出口や吸入口をふさいだり、エアカーテンよりはみ出して陳列すると、冷気の流れが乱れ商品が冷えにくくなります。



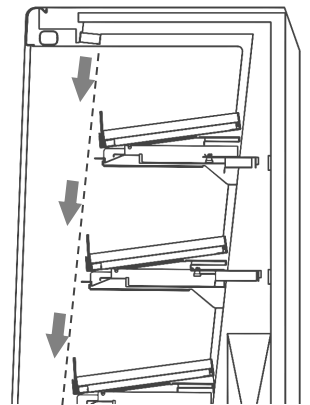
警告

棚には許容質量以上の商品
をのせない
ケガの原因

棚1枚あたりの収容本数と目安質量

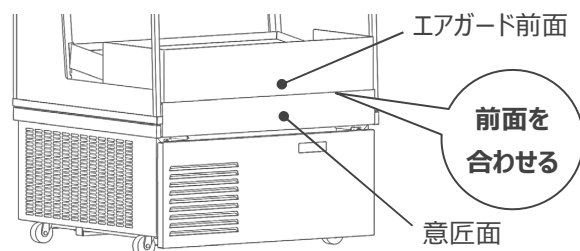
形名		SB-HF2014JRVA	SB-HF3014JRVA
棚1枚あたりの許容質量		20kg	30kg
185g缶	本数	55本	80本
	幅×奥行	11×5本	16×5本
	質量	12kg	18kg
350ml ペットボトル	本数	32本	48本
	幅×奥行	8×4本	12×4本
	質量	12kg	18kg
500ml ペットボトル	本数	32本	48本
	幅×奥行	8×4本	12×4本
	質量	17kg	26kg

← 冷気の流れ
----- エアカーテン



7 吸入口の前面にエアガードを取り付ける

- エアガードを差し込み、前面を意匠面に合わせてください。



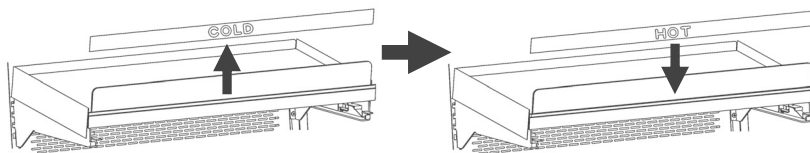
ご使用方法 つづき

ホット&コールド・オールホット運転をする

ホット&コールドやオールホット運転の設定は以下の手順でできます。

1 ホット運転をする陳列棚の表示を "HOT"にする

- "COLD"表示の裏側が
"HOT"表示になっています。

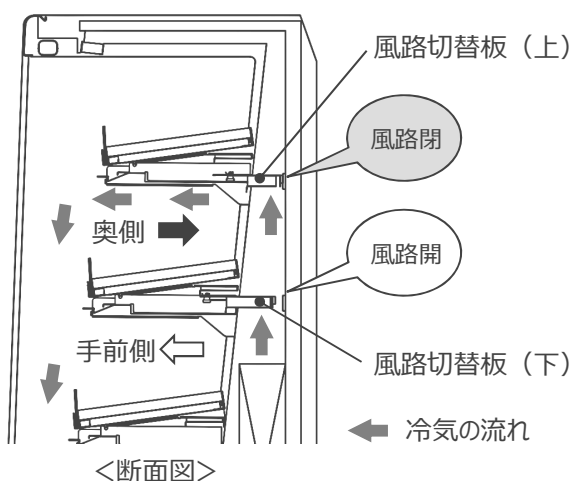


(図示は"COLD"から"HOT"へ変更の場合)

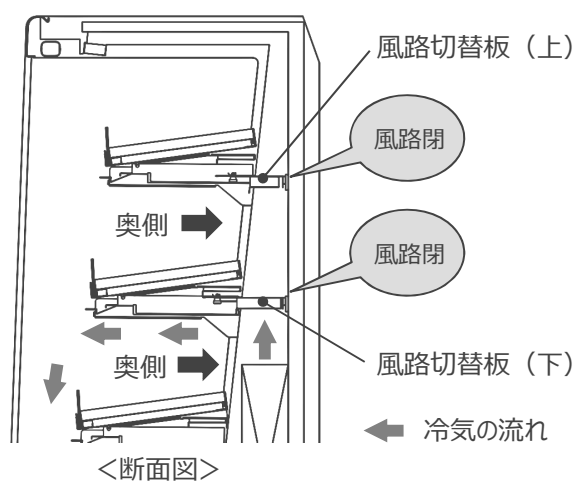
2 運転パターンに合わせて風路切替板を操作する

操作方法は **P.16** 手順2をご覧ください

風路切替板の位置 (1ホット&3コールドの場合)



風路切替板の位置 (2ホット&2コールドの場合)

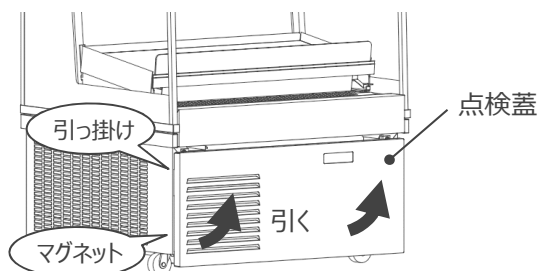


風路切替板の位置 (オールホットの場合)

オールホット運転時は風路切替板の操作の必要はありません。

3 点検蓋をはずす

- 点検蓋は上側引っ掛け、下側マグネット
固定です。下側を手前に引いてマグネット
をはずし、上に持ち上げるとはずれます。



4 運転パターンに合わせて設定を変更する

変更方法は **P.20** をご覧ください

- オールホット運転に変更すると自動的に圧縮機と庫内送風機が停止しますが故障ではありません。凝縮器送風機は運転しています。

5 を3秒以上押し続け、運転を開始する

6 コールド運転の陳列棚を引き出し、商品を入れる

- 商品で吸入口を塞がないでください。
冷気の流れが乱れ商品が冷えにくくなります。



警告

棚には許容質量以上の商品をのせない
ケガの原因

(許容質量と収容本数は **P.17** 手順6をご覧ください)

7 ホット運転の陳列棚を引き出し、品温ガードをのせ、その内側に商品を入れる

- 商品の品温を均一に保つために右図のように品温ガードをのせてください。
- 商品の陳列本数が少ないと過昇防止装置が作動して、温まらないことがあります。商品の補充はこまめにおこなってください。

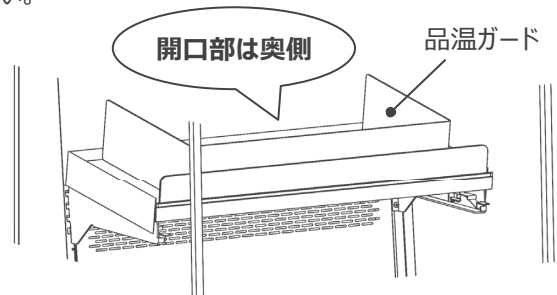
加温可能な商品

- ・キャップがオレンジやホット用の記載があるペットボトル
- ・キャップがオレンジやホット用の記載があるボトル缶
- ・缶飲料、ホット用の記載がある炭酸缶飲料



警告

ホット用以外の炭酸飲料・
ビン飲料をホット棚に置かない
破損によるケガ原因

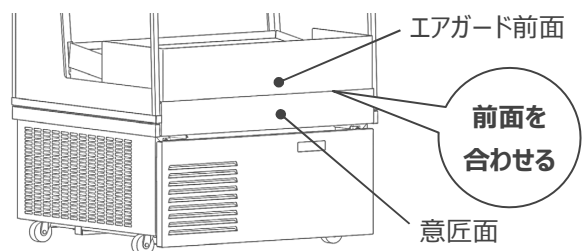


棚1枚あたりの収容本数と目安質量

		SB-HF2014JRVA	SB-HF3014JRVA
185g缶	本数	50本	75本
	幅×奥行	10×5本	15×5本
	質量	12kg	17kg
350ml ペットボトル	本数	32本	48本
	幅×奥行	8×4本	12×4本
	質量	12kg	18kg

8 吸入口の前面にエアガードを取り付ける (オールホット運転のときは取付不要ですので 保管をしておいてください)

- エアガードを差し込み、前面を意匠面に合わせてください。



ご使用方法 つづき

運転パターンを変更する

コントローラの設定値を変更し、4種類のパターンで運転することができます。

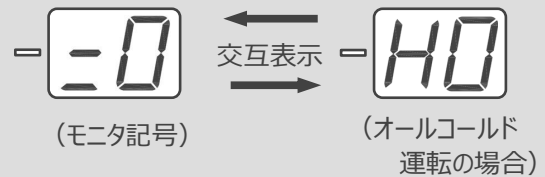
工場出荷時は **オールコールド** 運転仕様に設定しています。



1 棚 を3秒以上押し続ける

- ▲
- モニタ記号と現在値が交互に表示されます。

コントローラ 表示内容



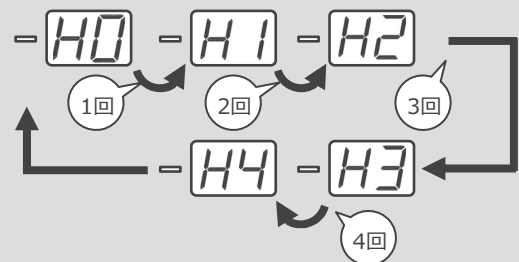
2 トップ 棚 を押し、

▼ ▲
運転パターンの設定値を変更する

- 設定値を変更すると交互表示はとまります。
- トップキー：設定値を変更(下げる)ときに押します。
- 棚キー：設定値を変更(上げる)ときに押します。

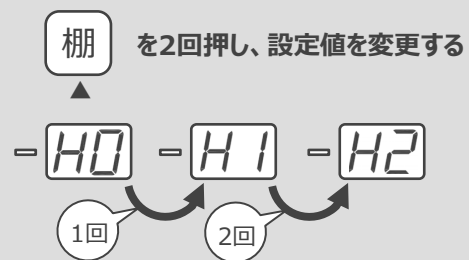
設定値	運転パターン
- H0	オールコールド
- H1	1ホット&3コールド
- H2	2ホット&2コールド
- H4	オールホット

- H3 は表示されますが、設定はできません。



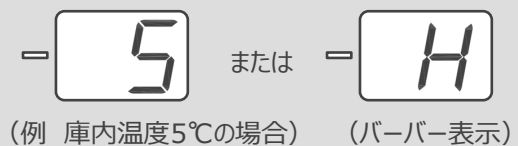
(内容に合わせて設定値を選択してください。)

例) オールコールド運転から 2ホット&2コールド運転に変更する場合



3 温度 設定 を押し、確定する

- 運転モードに戻ります。



(例 庫内温度5℃の場合) (バーバー表示)
現在の庫内温度または、オールホット運転時は
"H"表示されます

コールド運転の目標温度設定値を変更する

コントローラの目標温度設定値を変更し、コールド運転時の庫内温度を調整することができます。
工場出荷時は 7°C に設定しています。

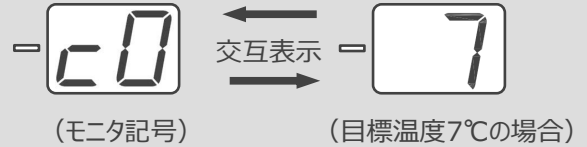
1



を3秒以上押し続ける

- モニタ記号と現在の目標温度設定値が交互に表示されます。

コントローラ 表示内容



2



を押し、

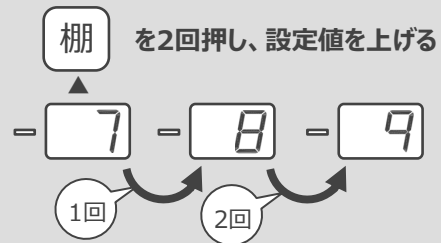


目標温度設定を変更する

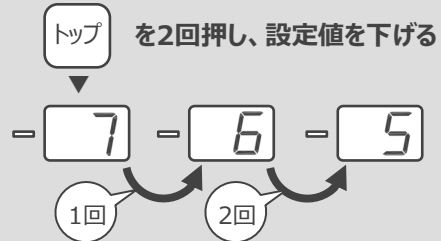
- 設定値を変更すると交互表示はとまります。
- トップキー：設定値を下げるときに押します。
棚キー：設定値を上げるときに押します。
- 目標温度は低温制限温度 2°C より低い温度の設定はできません。

低温制限温度：冷え過ぎを防止ための
設定温度下限値

例) 7°Cから9°Cに変更する場合



例) 7°Cから5°Cに変更する場合



3



を押し、確定する

- 運転モードに戻ります





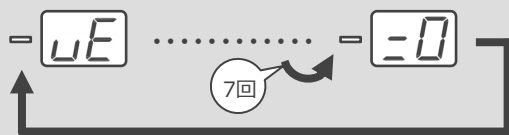
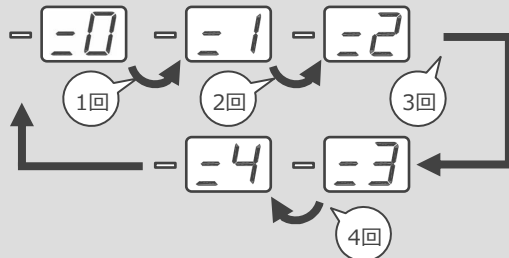

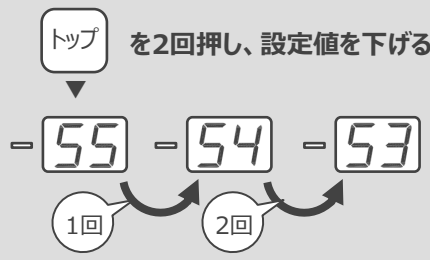

(例 庫内温度5°Cの場合)

ご使用方法 つづき

ホット運転の目標温度設定値を変更する

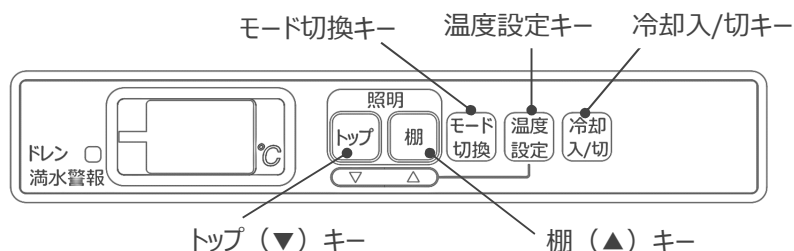
コントローラの設定値を変更し、棚毎に温度調整することができます。

工場出荷時は **55℃** に設定しています。

		コントローラ 表示内容
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">モード 切換</div> を3秒以上押し続ける ●設定モードに変更します。	 (庫内温度表示から"uE"表示に変わります)
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">モード 切換</div> を7回押し、モニタ記号  を選択する ●続けて押すと、モニタ記号は"uE"に戻ります。	
3	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">トップ ▼</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">棚 ▲</div> </div> を押し、操作するモニタ番号を変更する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 二1 : 棚 1 段目温度設定 二2 : 棚 2 段目温度設定 二3 : 棚 3 段目温度設定 二4 : 棚 4 段目温度設定 </div> ●トップキー : 番号を下げるときに押します。 棚キー : 番号を上げるときに押します。	 <p>(内容に合わせて設定値を選択してください。)</p>
4	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">温度 設定</div> を押し、確定する ●現在の目標温度設定値が表示されます。	 <p>(例 設定温度55℃の場合)</p>
5	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">トップ ▼</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">棚 ▲</div> </div> を押し、目標温度設定を変更する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ●目標温度は上限温度 58℃ より高い温度の設定はできません。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;"> 例) 55℃から53℃に変更する場合 </div> 
6	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">温度 設定</div> を押し、確定する ●運転モードに戻ります。	 <p>引き続き設定変更をする場合は手順2から繰り返す。 (例 庫内温度55℃の場合)</p>

コントローラ キー操作ロック機能について

いたずら防止のため、コントローラのキー操作をロック（操作禁止）することができます。



キー操作ロックのパターン

設定値によって以下のキー操作ロック（操作禁止）パターンが選択できます。（設定方法 **P.24**）

設定値	ロックされる操作キー				
- 00	工場出荷時設定値です。キー操作ロックは解除されています。				
- 01	トップ	棚	モード 切換	温度 設定	冷却 入/切
- 02			モード 切換	温度 設定	冷却 入/切
- 03			モード 切換		冷却 入/切
- 04			モード 切換		

キー操作ロックされる内容

操作キー	キー操作ロックの内容
トップ 棚	照明ON/OFF操作や設定値変更操作をロックします。 (例 照明点灯中に設定した場合は、操作をしても消灯しません)
モード 切換	アフターサービス時の確認操作・設定値の変更操作をロックします。
温度 設定	コールド運転時の目標温度値変更操作をロックします。
冷却 入/切	冷却運転の開始・停止操作をロックします。 (例 冷却運転中に設定した場合は、操作をしても冷却運転は停止しません)

キー操作ロック中に操作すると表示部に **LC** 表示されます。

キー操作ロック中は一時解除で操作可能になります。 **P.25**

ご使用方法 つづき

コントローラ キー操作ロックのしかた

キー操作ロックをしていない状態からキー操作ロックを設定するときは以下の手順で設定できます。



コントローラ 表示内容

- (庫内温度表示から"uE"表示に変わります)

- - (1回)

- - - (1回, 2回)

- (キー操作ロックなし"00"の場合)

- - - (1回, 2回, 3回)
 - (4回)
 (内容に合わせて設定値を選択してください。)

- →

(例 設定値"02"を設定の場合)

- または -

(例 庫内温度5℃の場合) (バーバー表示)
 現在の庫内温度または、バーバーが表示されます

1 **を3秒以上押し続ける**

- 設定モードに変更します。

2 **を1回押し、モニタ記号 - を選択する**

- 続けて押すと、モニタ記号は"uE"に戻ります。

3 **を2回押し、モニタ番号 - ▼ を選択する**

- 続けて押すと、モニタ記号は"c0"に戻ります。

4 **を押し、設定値を表示する**

- キー操作ロックしていないときは"00"が表示されます。

5 **を押し、設定値を変更する**

- ▲ 00 : ロック解除
 - 01 : モード切換・温度設定・冷却入/切・照明をロック
 - 02 : モード切換・温度設定・冷却入/切 をロック
 - 03 : モード切換・冷却入/切 をロック
 - 04 : モード切換 をロック
- 詳細は **P.23**

6 **を押し、確定する**

7 **を3秒以上押し続ける**

- 運転モードに戻ります。

コントローラ キー操作ロック一時解除のしかた

キー操作ロック中に操作するときは、一時解除をしてください。

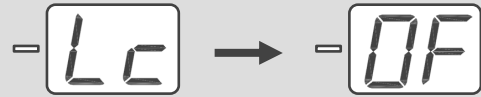
1



を3回押す

- 操作完了してから5分経過後、再びキー操作ロックされます。

コントローラ 表示内容



"Lc"⇒"OF"が2回繰り返し表示されて、元の表示に戻ります

コントローラ キー操作ロック変更・解除のしかた

キー操作ロックの解除、変更は以下の手順でできます。

1



を3回押して操作可能にする

コントローラ 表示内容

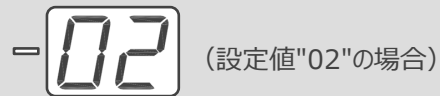


"Lc"⇒"OF"が2回繰り返し表示されて、元の表示に戻ります

2

P.24

の手順1～4で設定値を表示する



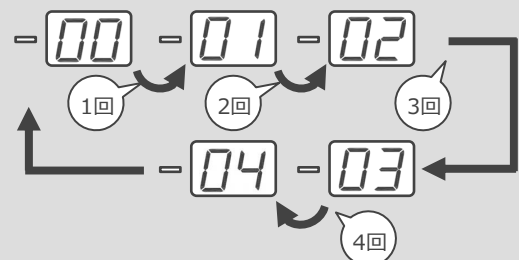
(設定値"02"の場合)

3

棚

を押し、設定値を変更する

- 00 : ロック解除
 - 01 : モード切替・温度設定・冷却入/切・照明をロック
 - 02 : モード切替・温度設定・冷却入/切 をロック
 - 03 : モード切替・冷却入/切 をロック
 - 04 : モード切替 をロック
- 詳細は **P.23**



(内容に合わせて設定値を選択してください。)

4

温度設定

を押し、確定する



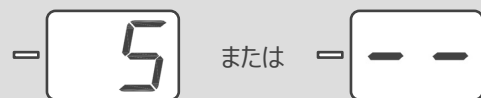
(例 設定値"01"を設定の場合)

5



を3秒以上押し続ける

- 運転モードに戻ります。



(例 庫内温度5℃の場合) (バーバー表示)
現在の庫内温度または、バーバーが表示されます

ご使用方法 つづき

ドレン満水警報の解除のしかた

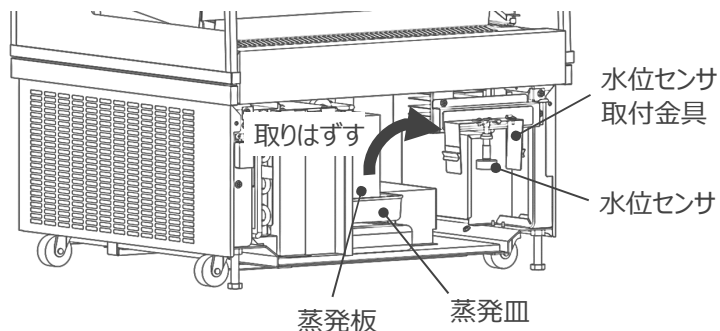
コントローラのドレン満水警報が点滅する場合は以下の手順で解除することができます。

蒸発皿の水を捨てる水桶（バケツ）をご用意ください。

1 P.28 の手順で漏電遮断器を「OFF」にする

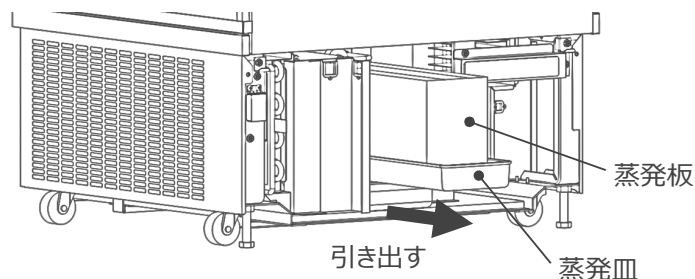
2 水位センサを取付金具ごと蒸発皿から取りはずす

- 水位センサの配線を強く引っ張らないように取りはずしてください。



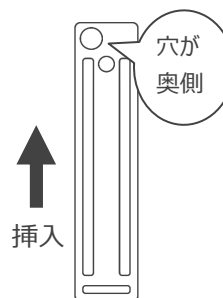
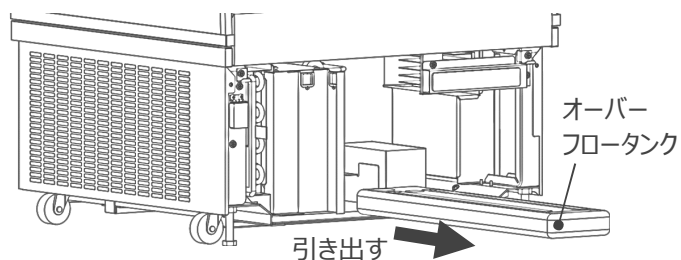
3 蒸発皿と蒸発板を引き出し、皿の中の水を水桶（バケツ）などに捨てる

- 蒸発皿にドレン水が残っている場合がありますので水をこぼさないようにゆっくり引き出してください。
- ドレン水の水滴が庫内から落ちてくる場合があります。蒸発皿を置いていた位置に、ドレン水を吸い取れるように布などを置いてください。



4 オーバーフロータンクを引き出し水が入っているか確認する

- 水が入っているときは排水し、もとに戻してください。
- 前後・上下逆に挿入しないでください。正しく挿入しないと水漏れの原因になります。



<オーバーフロータンク挿入方向>

処置が終了しましたら、逆の手順で部品を元に戻してください。水位センサを蒸発皿に取り付けるときは、フロート部を皿部分にひっかかないようにして取り付けてください。

お手入れと点検

製品を長く、清潔にご使用いただくために
定期的にお手入れ・点検をしてください。

お手入れ・点検箇所と頻度

外装・庫内・ガラス

お手入れ：日常

- 水を含ませたやわらかい布で拭いてください。
- 落ちにくい汚れの場合は、うすめた台所用洗剤（中性洗剤）を含ませた布で拭いたあと、水を含ませた布で拭き取ってください。
- 洗剤は原液のままで使用しないでください。

漏電遮断器

点検：半年に1回

P.31

フィルター

お手入れ：月に1回以上

P.29

電源プラグ

お手入れ：半年に1回

P.29

蒸発板

お手入れ：半年に1回

P.30

水位センサ

点検：日常

(特に梅雨時期や夏場)

P.32

蒸発皿・オーバーフロータンク

点検：日常（特に梅雨時期や夏場）

- 蒸発皿にドレン水が残っていないか確認し、残っているときは排水をしてください。
- 蒸発皿の深さ半分くらいのドレン水が頻繁に残っているときは、蒸発板の性能が低下しているおそれがあります。
蒸発板のお手入れをするか、新しい蒸発板に交換してください。

P.31 P.32

お願い

●以下のものは使用しないでください。
(傷つき・腐食・変色・変形の原因になります)

- ◆台所用洗剤（中性洗剤）以外の洗剤
- ◆ベンジン・シンナー・漂白剤・クレンザー・アルコール
- ◆スチールタワシ・タワシ
- ◆熱湯・酸



警告

製品に直接水をかけない
漏電・感電の原因

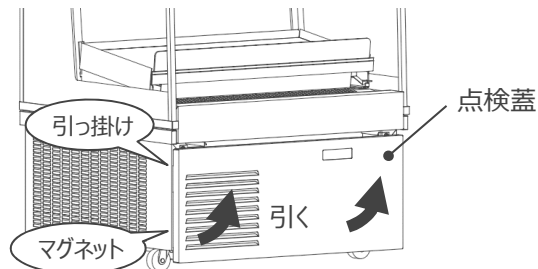
お手入れと点検 つづき

お手入れをする前に

お手入れのときは必ず下記の手順で冷却運転を停止し、安全のために漏電遮断器を切ってください。

1 点検蓋をはずす

- 点検蓋は上側引っ掛け、下側マグネット固定です。下側を手前に引いてマグネットをはずし、上に持ち上げるとはずれます。



2 冷却入/切を3秒以上押し、

運転を停止する

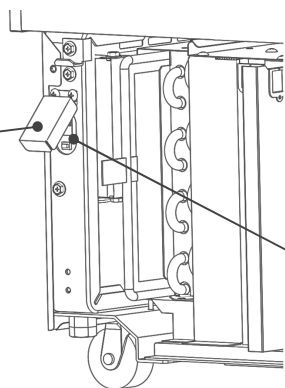
冷却入/切

冷却入/切キー

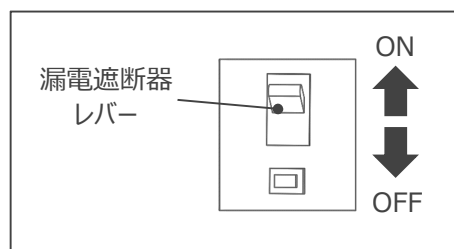


3 漏電遮断器を「OFF」にする

漏電遮断器
スイッチカバー



漏電遮断器



警告

お手入れや点検のときは
必ず漏電遮断器を切り
電源プラグを抜く
感電・ケガの原因

お手入れが終わりましたら、逆の手順で冷却運転を開始してください。

お手入れのしかた

フィルター お手入れ：月に1回以上

ほこりがたまった状態で運転を続けると、冷却能力低下や安全に運用するための保護機能により冷却運転停止の原因になります。

1 点検蓋をはずし、冷却入/切キーを切る

P.14

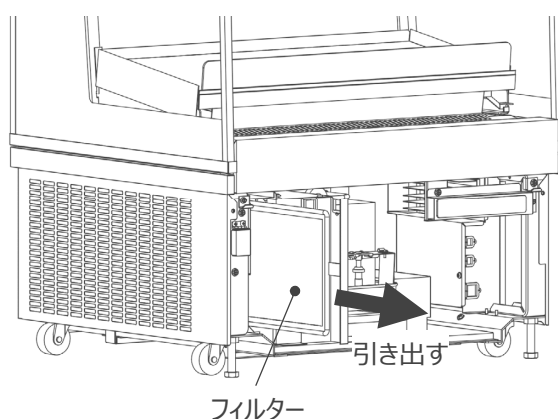
2 フィルターを引き出してほこりをよく取り除く

- 掃除機や、やわらかいブラシで取り除いてください。



注意

フィルター清掃時は凝縮器フィンに直接手を触れないケガの原因



お手入れが終わりましたら、フィルターを正しい向きに入れ直し、運転を再開してください。

電源プラグ お手入れ：半年に1回

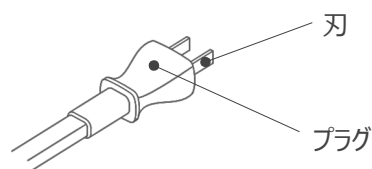
ほこりがたまった状態で使用すると、絶縁不良による火災の原因になります。

1 P.28 の手順で漏電遮断器を「OFF」にする

- お手入れのときは電源を切ってください。

2 電源プラグや刃のほこりをよく取り除く

- 水ぶきや水洗いはしないでください。



3 電源プラグをコンセントの根元まで確実に差し込む



注意

電源プラグは、がたのないように刃の根元まで確実に差し込む火災・感電の原因

お手入れと点検 つづき

蒸発板 お手入れ：半年に1回

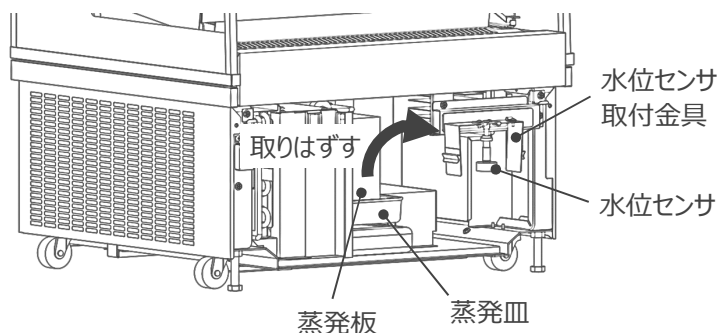
蒸発板に汚れが付着していると、蒸発性能低下による水漏れの原因になります。

1 P.28 の手順で漏電遮断器を「OFF」にする

- お手入れのときは電源を切ってください。

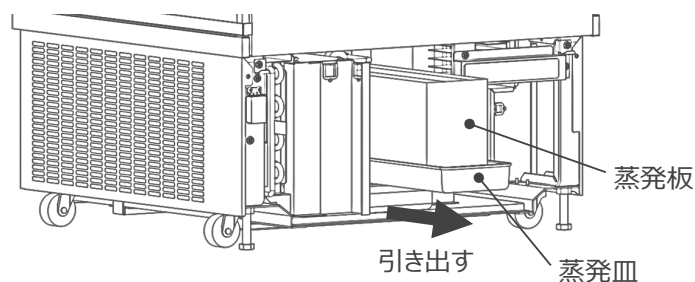
2 水位センサを取付金具ごと蒸発皿から取りはずす

- 水位センサの配線を強く引っ張らないように取りはずしてください。



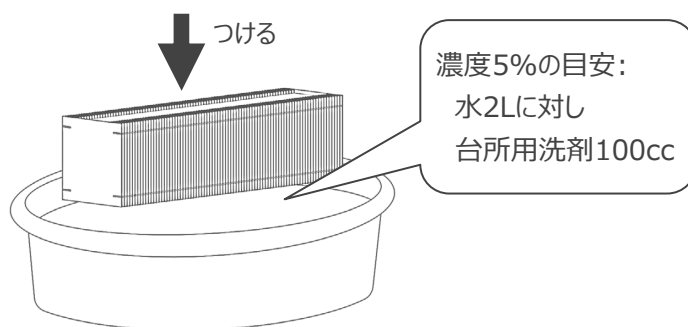
3 蒸発皿と蒸発板を引き出し 蒸発皿のみ元の位置に戻す

- 蒸発皿にドレン水が残っている場合がありますので水をこぼさないようにゆっくり引き出してください。
- 蒸発板をお手入れする間ドレン水を受けるため蒸発皿を元に戻してください。



4 蒸発板を台所用洗剤（中性洗剤）を濃度5%にうすめた液に30秒ほどつける

- 蒸発板は水を含むと重くなります。持ち上げるときは蒸発板の底面を支えてください。
- 蒸発板をブラシなどでこすらないでください。



5 水でよく洗い流す

- 洗剤分が残っていると蒸発板のフレームがさびる原因になります。

蒸発板の交換について

- お手入れをしても頻繁にドレン水が残っているときは、新しい蒸発板に交換してください。
- 蒸発板は消耗品です。2年を目安に交換してください。
- 環境によっては蒸発板の性能低下が進み、1年前後で交換になる場合があります。
(粉塵・油分の多い場所・温度・湿度の高い環境など)
- 蒸発板はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

点検のしかた

漏電遮断器 点検：半年に1回

故障した状態でご使用されますと、感電の原因になります。

1 点検蓋をはずし、冷却入/切キーを切る

P.14

- 点検は電源が入っている状態で行ってください。

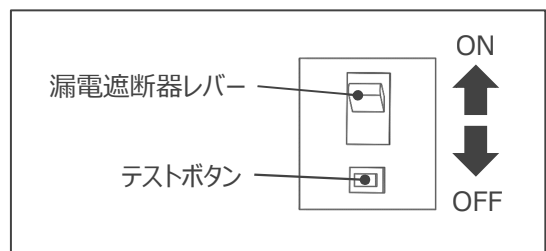
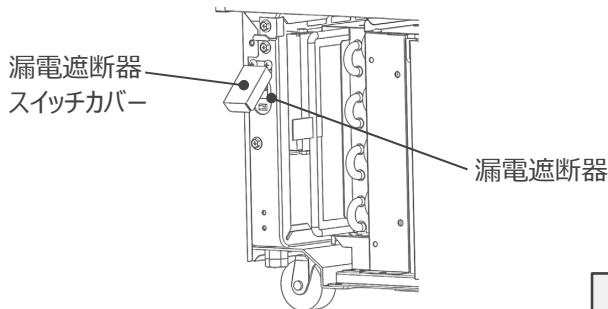


警告

漏電遮断器は定期的に
動作を確認する
火災・感電の原因

2 漏電遮断器のテストボタンを押す

- 正しく作動すると、レバーが「OFF」になります。



点検時に正しく漏電遮断器が作動しないとき

運転を停止して、必ず電源プラグをコンセントから抜き、商品を別のショーケースに移すなど処置した上で、お買い上げの販売店にご連絡ください。

3 作動確認後、レバーの位置を「OFF」から「ON」にする

蒸発皿・オーバーフロータンク 点検：日常（特に梅雨時期や夏場）

水漏れを防止するために、蒸発皿やオーバーフロータンクにドレン水が残っていないか定期的に点検をしてください。

1 P.28 の手順で漏電遮断器を「OFF」にする

- 点検のときは電源を切ってください。

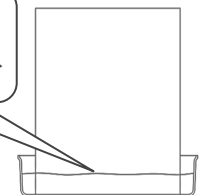
2 蒸発皿にドレン水が残っていないか確認し、残っているときは排水をする

- 蒸発皿深さ半分くらいのドレン水が頻繁に残っているときは蒸発板の性能が低下しているおそれがあります。蒸発板のお手入れをするか、新しい蒸発板に交換してください。

P.30

P.32

水位目安：
蒸発皿深さの半分



お手入れと点検 つづき

点検のしかた (つづき)

水位センサ 点検：日常（特に梅雨時期や夏場）

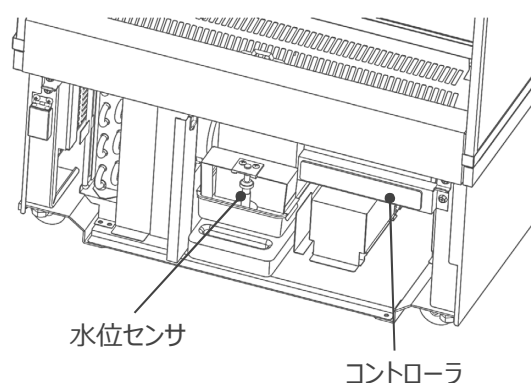
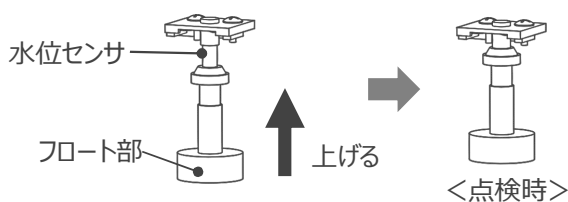
水位センサが正常に作動するか定期的に点検をしてください。

1 点検蓋をはずす P.28

- 点検は電源が入っている状態で行ってください。

2 水位センサのフロート部を上上げる

- フロート部を上げることによって、簡易的に水がたまっているのと同様の状態にします。



3 コントローラのドレン満水警報が点滅することを確認する

- ドレン満水警報が点滅しないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。



点検が終わりましたら、フロート部を下げて元に戻してください。

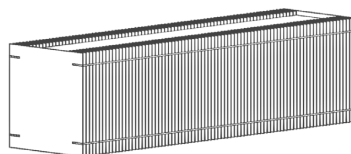
消耗品

右記の部品は消耗品になりますので、必要に応じて交換をしてください。

ご注文はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

交換目安はご使用方法・環境により変化します。

蒸発板（交換目安:2年）



R22045868
（全機種共通部品）

故障かな?と思ったら

修理をご依頼される前に以下の項目をお調べください。お調べになっても不具合がある場合は運転を停止して、必ず漏電遮断器を切ってから電源プラグを抜き、商品を別のショーケースに移すなど処置した上で買い上げの販売店にご連絡ください。

現象	原因の確認	処置方法
運転しない	停電ではありませんか。	停電解消までお待ちください。 停電解消ののち、運転を再開します。
	お店の電源ヒューズや配線用漏電遮断器が切れていませんか。	お店の電源ヒューズや配線用遮断器をご確認ください。
	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	電源プラグや刃のほこりをよく取り除き根元まで確実に差し込んでください。
	ショーケースの漏電遮断器が「OFF」になっていませんか。	漏電遮断器を「ON」にしてください。
	☐ -- ☐ が表示されていませんか。	冷却運転停止中です。 冷却運転を開始してください。 P.14
	☐ dF ☐ が表示されていませんか。	霜取り運転を行っています。 30分程で運転を再開します。 P.10
	温度調整運転中ではありませんか。	庫内温度が規定値に達すると運転を再開します。 しばらく経ってから圧縮機が運転しているか確認してください。
運転停止後3分以内で運転を再開していませんか。	運転停止後、3分以内に再開した場合は、圧縮機は3分経過後に運転を開始します。	
音がうるさい	床がしっかりしたところに据え付けていますか。	水平で床が丈夫な場所に据え付けてください。 P.12
	ショーケースが壁や物などに当たっていませんか。	ショーケースが壁や物などに当たらないように据え付け位置を調整してください。
照明がつかない	照明の点灯操作をしていますか。	コントローラを操作して照明をつけてください。 P.15

故障かな?と思ったら つづき





現象	原因の確認	処置方法
よく冷えない	風路切替板が奥に差し込まれていませんか。	運転パターンにあわせ、切替板を正しく操作してください。 P.16
	ショーケースの吸気・排気スペースを確保していますか。	機械室の吸気・排気のために10cm以上すきまをあけてください。 P.12
	直射日光があたったり、近くに熱源はありませんか。	周囲の温度が上昇し、冷却性能が悪くなる原因になりますので据え付け場所を調整してください。 P.12
	店舗出入口付近や空調ダクト・換気扇のそばに据え付けていませんか。	ショーケース庫内に外気が入りやすくなりますので、風があたらないように据え付け場所を調整してください。 P.12
	 が表示されていませんか。	冷却運転停止中です。 冷却運転を開始してください。 P.14
	冷気の吹出口・吸込口を商品などで塞いでいませんか。	冷気の吹出口・吸込口から商品などを取り除いてください。
	フィルターが目詰まりしていませんか。	フィルターのお手入れしてください。 P.29
	エアガードを正しく取り付けられていますか。	エアガードを取り付けてください。 P.17 P.19
よく温まらない (次ページにつづく)	商品が傾いていたり、横になっていませんか。	商品を立てて並べてください。
	周囲温度が低くありませんか。	周囲温度が15℃以上になるように周囲環境を調節してください。

現象	原因の確認	処置方法
よく 温まらない	<p>ホット運転の設定が正しくできていますか。</p>	<p>風路切替板と運転パターンを確認してください。 P.18 P.20</p>
	<p>商品を入れてからの経過時間が短くありませんか。</p>	<p>少し時間をおいてから再び商品の温まり具合を確認してください。 (棚満載状態の15℃の商品を50℃近くまで温めるのに10時間程要します。)</p>
	<p>品温ガードを正しく取り付けられていますか。</p>	<p>品温ガードを取り付けてください。 P.19</p>
蒸発皿に ドレン水が 頻繁に たまる	<p>ショーケースに風があたっていませんか。</p>	<p>ショーケース庫内に外気が入りやすくなり、ドレン水が増える原因になります。据え付け場所を調整してください。 P.12</p>
	<p>蒸発板がよごれていませんか。</p>	<p>蒸発板のお手入れをしてください。それでも良くならない場合は新しい蒸発板に交換してください。 P.30</p>
ドレン 満水警報が 赤く点滅する ドレン <input type="checkbox"/> 満水警報	<p>蒸発皿が満水です。蒸発性能が低下しているおそれがあります。蒸発板がよごれていませんか。</p>	<p>蒸発皿とオーバーフロータンクの水を捨ててください。蒸発板のお手入れをしてください。それでも良くならない場合は新しい蒸発板に交換してください P.30 P.31 P.32</p>
	<p>水位センサのフロート部が上がったままになっていませんか。</p>	<p>フロート部を元の位置に戻してください。 P.32</p>
コントローラ の操作が できない	<p> が表示されていませんか。</p>	<p>キー操作ロックの一時解除または、解除をしてください。 P.25</p>

故障かな?と思ったら つぎ

コントローラにエラー表示が出たときは

庫内温度表示と以下の表示が交互に表示されているときは、原因の確認と処置を行ってください。

現象	原因の確認	処置方法
 (イーサン)	圧縮機が高温になっています。 フィルターが目詰まりしていませんか。	フィルターのお手入れをして、運転を再開してください。 P.29 ・冷却入/切キーを「OFF」にしないで処理を行なうとエラー表示は消えません。また、「E4」エラー発報時は通常の運転にもどりません。
 (イーヨン)	圧縮機の吐出圧力が高くなっています。 フィルターが目詰まりしていませんか。	
 (イーゴ)	吐出配管が高温になっています。 フィルターが目詰まりしていませんか。	
 (エイチ)	送風機（凝縮器）の風量低下 または、送風機・センサが故障しています。	

その他の表示が出たときは

つぎのような表示が出ているときは部品が故障している可能性があります。

運転を停止して、必ず電源プラグをコンセントから抜き、商品を別のショーケースに移すなど処置した上で、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 上記以外の表示が庫内温度と交互表示しているとき
- 庫内温度表示が点滅（点滅周期 3秒点灯 0.5秒消灯しているとき）

◇ 庫内温度表示が点滅周期 0.5秒点灯 0.5秒消灯で点滅しているときは除霜禁止モードです。コントローラの温度設定キーを2回押して点滅が解除されるか確認してください。（故障ではありません）

よくあるご質問

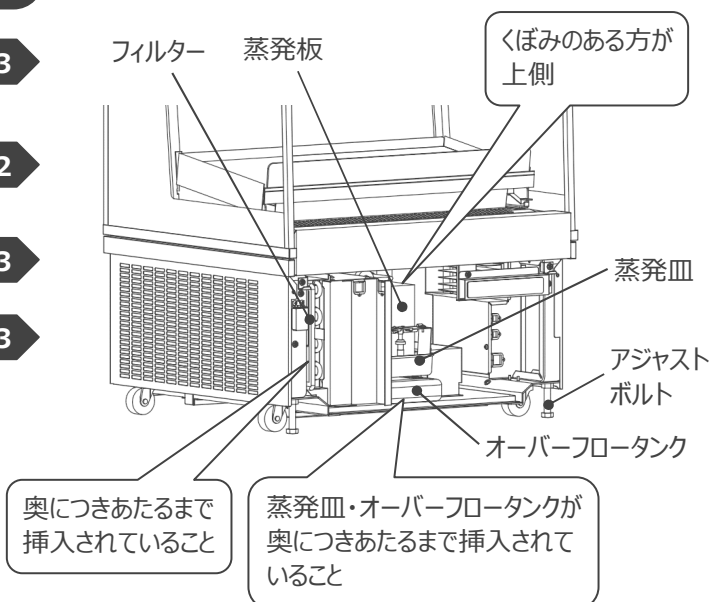
<p>Q ノンフロン（プロパン）はどんな冷媒？</p> <p>A 地球温暖化に及ぼす影響の小さい自然冷媒で、地球温暖化係数※1 はGWP=3です。 ※1 地球温暖化係数とは二酸化炭素を基準として他の温室効果ガスがどれだけ温暖化させる性質を表した数値</p>	<p>Q ノンフロン（プロパン）は可燃性冷媒、安全性は？。</p> <p>A 密閉された冷媒回路を循環しているため、通常直接火気にふれることはありません。冷媒が漏れた場合でも安全性を確保するための機能をそなえています。</p>
<p>Q オールホット運転中や冷却運転停止中に凝縮器送風機が運転している。</p> <p>A 冷媒が漏れた場合の安全性を確保するため、常に凝縮器送風機を運転して空気を拡散しています。</p>	<p>Q オールホット運転中や冷却運転停止中に圧縮機の運転音が聞こえる。</p> <p>A 庫内から冷媒が漏れた場合の安全性を確保するため、1日1回圧縮機を動かして、機械室側へ冷媒を移動しています。</p>
<p>Q コントローラの表示器に“Pd”が表示されている。</p> <p>A 冷却運転開始後や霜取り運転終了後の急冷中です。庫内温度が目標温度+3℃以下になるか霜取り運転終了1時間経過後に温度表示に戻ります。</p>	<p>Q コントローラの表示器に“H”が表示されている。</p> <p>A オールホット運転中です。 P.20</p>
<p>Q 冷却運転の庫内温度を調整したい。</p> <p>A コントローラで設定変更ができます。 P.21</p>	<p>Q ホット運転の温度調整をしたい。</p> <p>A コントローラで設定変更ができます。温度調整は棚毎に変更可能です。 P.22</p>
<p>Q オーバーフロータンクの水を捨てても満水警報ランプが消灯しない。</p> <p>A 水位センサーは蒸発皿の水位を検知しています。蒸発皿の水を排水してください。 P.26</p>	

据付工事確認と試運転

試運転を行うときは、立ち会ってください。運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、据付実施者から説明を受けてください。

据付工事完了時の確認事項

- アジャストボルトで固定されていますか。 **P.13**
- ショーケースの吸気・排気スペースは確保されていますか。 **P.12**
- アース線が接続されていますか。 **P.13**
- ショーケース専用のコンセントを使用していますか。 **P.13**
- フィルターが挿入されていますか。
- 蒸発皿・オーバーフロータンクの位置のずれや、蒸発板が上下逆になっていませんか。



保管・移設・廃棄について

長期間ご使用にならないとき

- 庫内の商品を全て取り出し、安全のために電源プラグはショーケース専用コンセントから抜いてください。
- 水のかかる場所や湿気の多いところ、腐食性ガスが発生しやすい場所には保管しないでください。
- 直射日光のあたるところには保管しないでください。
- 製品を保管するときは幼児が遊ぶ場所をさけてください。
- 庫内の水気をよく乾燥させてください。
- 蒸発板は、お手入れをして乾かしてください。

移設をするとき

- 移設は当社代理店または専門業者にご依頼ください
- 取扱説明書と「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）を製品の目立つところに添付してください。

廃棄をするとき

- このショーケースは可燃性冷媒を使用していますので、廃棄するときは専門業者に依頼し、可燃性冷媒を使用している旨をお伝えください。
- 廃棄時は、長期間放置せずに、速やかに専門業者に引き渡してください。

仕様

項目		形名	SB-HF2014JRVA	SB-HF3014JRVA
用途			飲料用	
庫内温度	℃		コールド：5～10℃ / ホット：50～60℃	
電源	-		単相100V	
外形寸法	高さ	mm	1495	
	幅	mm	650	900
	奥行	mm	600	
定格内容積		L	109	159
陳列面積		m ²	0.66	0.94
外装		-	表面処理鋼板焼付塗装	
内装		-	表面処理鋼板焼付塗装	
断熱材		-	ウレタン注入発泡	
陳列棚		-	スライド棚 4段	
脚部		-	ナイロン車輪径Φ50自在キャスター4個	
照明灯		-	LED 8.5W×1	LED 12.2W×1
圧縮機	形式	-	全密閉形（ロータリ式インバータ）	
	呼称出力	W	550	
冷媒	種類	-	プロパン（R290）	
	冷媒封入量	g	140	150
	制御方式	-	電子膨張弁	
地球温暖化係数（GWP）		-	3	
最大許容圧力		MPaG	2.0	
冷却器形式		-	クロスフィン（強制通風式）	
凝縮器形式		-	クロスフィン（強制通風式）	
温度制御		-	マイコン制御	
除霜方式		-	オフサイクル方式	
標準装備		-	デジタル温度計（コントローラ）、漏電遮断器、アース線、ドレン強制蒸発装置、オーバーフロータンク、収納式ナイトカバー、棚ガード、ホット・コールド表示板、PCLレール（プライスプレート）	
付属品		-	エアガード、品温ガード、商品仕切棒	
製品質量		kg	116	136

品質向上のため、おことわりなく一部仕様を変更する場合がございます。

保証とアフターサービス

■保証書（別添付）

- 「保証書」は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 「保証書」は内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日から1年間です。
(冷凍サイクル用部品は2年間です。)

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、このショーケースの補修用性能部品を製造打切後12年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買い上げの販売店が「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）にご相談ください。

■修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（P.33～36）にしたがってお調べください。

- なお、不具合がある場合は運転を停止して必ず電源プラグを抜き、商品を別のショーケースに移すなど処置した上で、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

●保証期間中は

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。点検・診断のみでも有料になることがあります。

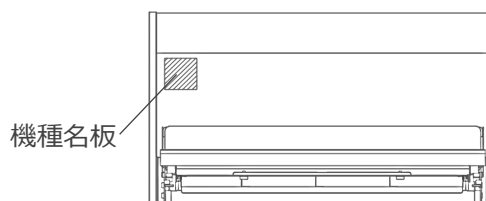
●修理料金は

技術料+部品代+出張料などで構成されています。

- ・技術料・・・製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
- ・部品代・・・修理に使用した部品代金です。
- ・出張料・・・お客様のご要望により、製品のある場所へ技術員を派遣する費用（出張料）や有料駐車場の費用（駐車料）を別途いただく場合があります。

●ご連絡頂きたい内容

1. 品名 三菱オープンショーケース
2. 形名 庫内機種名板に記載
例) SB-HF2014JRVA
3. 製造番号
(庫内機種名板に記載のWSから始まる番号)



4. 故障の状況（できるだけ具体的に）
5. 設置年月日
6. 設置場所のご住所
7. お名前・電話番号・訪問希望日
8. 冷媒にR290(プロパン)を使用していること

便利メモ

お買い上げ販売店名

電話番号

三菱電機株式会社
三菱電機冷熱応用システム株式会社

〒640-8686 和歌山市手平6丁目5番66号（三菱電機（株）冷熱システム製作所内）